



レギスタン広場（サマルカンド）

ウズベキスタンの「歴史宝庫」と呼ばれるサマルカンドのレギスタン広場はチンギスハーンの
 侵攻以後、アフラシャブから移動したサマルカンドの商業の中心だけではなく、政治や経済、
 交易の交差点になり、公共の広場として非常に大事な役割を果たしていました。

★★ 見学地の一部に、ゆるやかな坂道や山道、斜面、また階段があったり、見学地まで長い距離を歩くことがあります。



ナヴォイ劇場(タシケント)

旧ソ連時代にロシア革命30周年の記念事業として建築が進められ、第二次世界大戦によって工事が大幅に遅れたことから日本兵の捕虜も工事に動員され建設に関わったことで有名な劇場です。

このような場所も見学します

ウルグベグ天文台(サマルカンド)

「サマルカンド・文化交差路」の構成資産の一つで、ティムール朝の第4代の王ウルグ・ベクによって築かれた、当時としては世界最先端の天文台でした。

タジキスタン国立博物館 (ドゥシャンベ)

50,000点を超える遺物が収蔵されており、考古学や民族学に関する豊富なコレクションが展示されています。これらには、陶器、金属細工、武器、宝石、貨幣、写本、彫刻、家庭用品、刺繍などが含まれます。博物館の所蔵範囲は、青銅器時代（紀元前4千年紀）から20世紀初頭までです。

アミール・ティムール広場 (タシケント)

地中海からインドに至る広大な領域に中央集権的な国家を築いた14世紀の優れた軍司令官であり政治家のアミール・ティムールの記念碑が広場の中央に立っています。

※このほかの立ち寄り場所や、詳しい行程については右ページの日程表をご覧ください。

※現地ではガイドがご案内いたします。



グーリアミール廟（サマルカンド）

旧市街の中心部・レギスタン広場の南側に位置し、グーリ・アミールはペルシア語で「王の墓」を意味するもの。その名の通り、ここは1404年に完成したティムール（1336～1405年）のための霊廟であり、ティムール朝時代の王族や関係者の霊廟でもありました。



4つ星ホテルに宿泊

- 10/16（金）
タシケント：ラムダ プラザ by ウィンダム タシケントもしくは同等クラスのホテル
- 10/17（土）
サマルカンド：グール・エミール宮殿 もしくは同等クラスのホテル
- 10/18（日）、10/19（月）
ドゥシャンベ：ザルミ ホテル & レジデンス もしくは同等クラスのホテル
- 10/20（火）
タシケント：ウィンダム タシケントもしくは同等クラスのホテル

株式会社 国際交流サービス社長 辻田 洋一が関西国際空港より同行します。